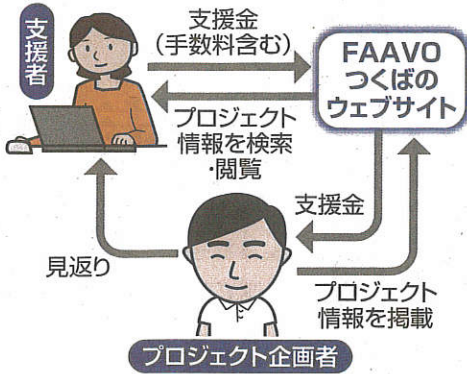


つくば版 企画支援サイト

実現したいプロジェクトをインターネット上で紹介し、趣旨に賛同した人が資金を提供する「クラウドファンディング」の地域限定サイト「FAAVOつくば」が7月に開設された。資金提供者には金額に応じた見返りがあり、地域を元気にする取り組みを応援する新たな仕組みとして、注目を集めている。

FAAVOつくばの仕組み



発案者と資金提供者つなぐ

クラウドファンディングは不特定多数から少しずつ資金を集められるのが特徴で、米国などで広がっている。FAAVOは東京都の会社で、宮崎県や横浜市など全国各地域で展開。支援金の合計が目標金額に達すると企画者は支援金を受け取ることができ、支援者は製品をもらったりサービスを受けたりできる。各地域のサイト運営会社は手数料を得る。

FAAVO 7月に開設

クラウドファンディングか」と考えた。FAAVOが各地で始めているのを見つけ、県南、県西を拠点にしているプロジェクトに限ったつくば版の運営に乗り出した。

7月1日の発足と同時に掲載したプロジェクトの一つは、つくば市の機械式腕時計専門店「ドッペルコーポレーション」の清水義孝代表(41)が発案した、時計師の牧原大造さん(35)(東京都国分寺市)の腕時計製作を後押しする企画だ。

メーカーが生産するのとは違つ、職人が手作りする腕時計のために2年ほど前から入手困難な機材をそろえるなど製作環境を整え、

支援してきた。清水さんは「ブランドを守らないといけない企業と異なり、個人で作れば大胆なものができると」と時計師の技術に期待する。

企画提案後は支援者が増え、7月18日に目標金額50万円を達成した。清水さんは「企画の内容に共感してくれてうれしい」と話し、牧原さんは「少しでも多くの人に機械式時計のすばらしさを知っていただきたい。誠実で嘘のない仕事を心がけて製作する」と意気込んでいる。

これまでに「尺八スターキット制作」が目標達成したほか、「受験生を応援するアイドル」のプロジェクトが支援を募集している。曾我さんは「全国的に注目を浴びるような企画を手がけ、すべて達成させたい」と話している。FAAVOつくばのサイトは、<https://faavo.jp/tsukuba/>